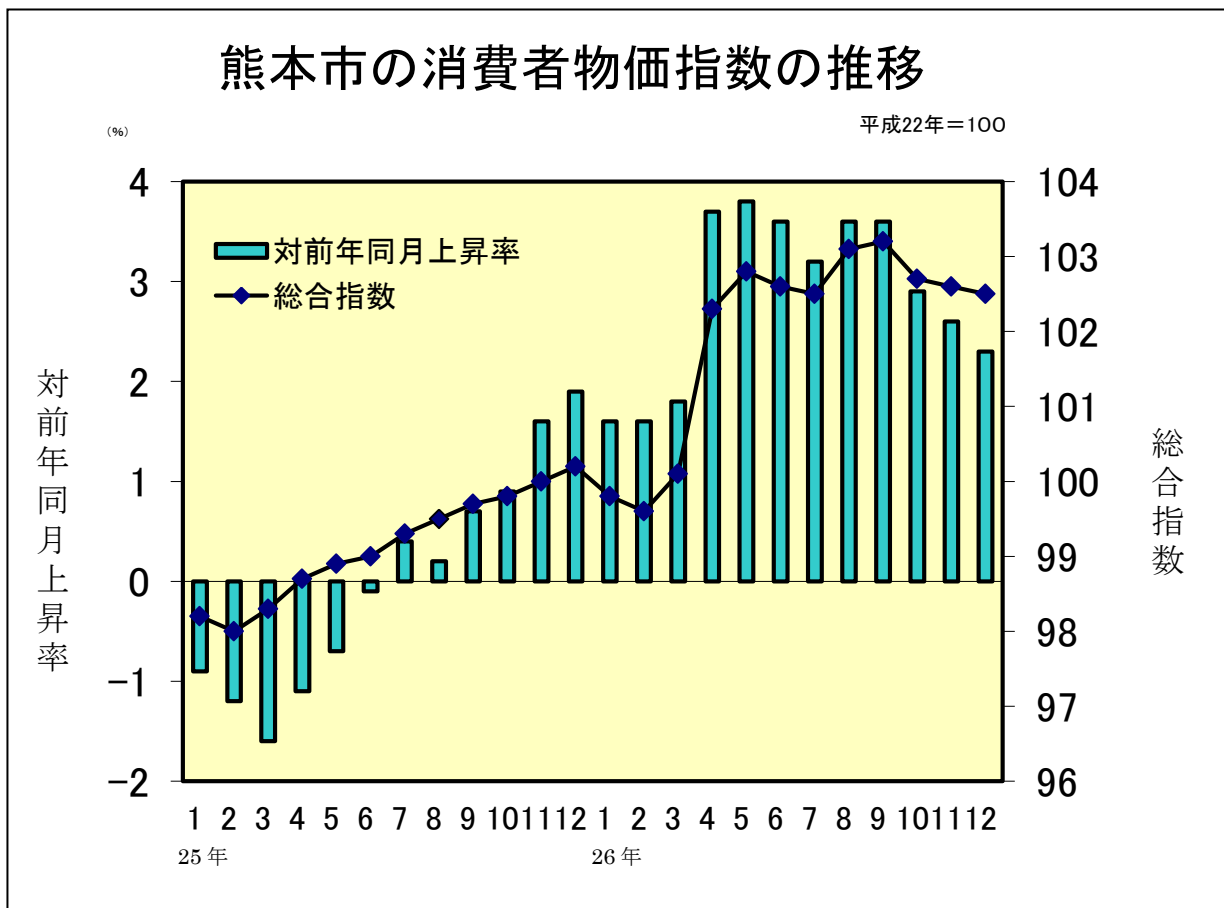


平成22年基準

熊本市の 消費者物価指数

平成26年12月分



熊本県統計調査課

12月の熊本市の消費者物価指数の動向

総合指数	102.5
前月比	-0.1%
前年同月比	2.3%

総合指数は、平成22年を100として102.5となり、前月比は-0.1%となった。
前年同月比でみると、平成26年9月は3.6%、10月は2.9%、11月は2.6%と推移した後、12月は2.3%となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数は102.5となり、前月比は0.0%となった。
前年同月比は、平成26年9月は3.2%、10月は3.0%、11月は2.6%と推移した後、12月は2.7%となった。

また、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は100.3となり、前月比は0.0%となった。

前年同月比は、平成26年9月は2.3%、10月は2.0%、11月は1.7%と推移した後、12月は1.6%となった。

○上昇及び下落した主な項目（寄与度順）

(1) 前月との比較

△上昇した主な項目

菓子類	(+)	3.6%
調理食品	(+)	2.6%
家庭用耐久財	(+)	9.1%

▽下落した主な項目

自動車等関係費	(-)	1.8%
魚介類	(-)	4.6%
理美容用品	(-)	4.7%

(2) 前年同月との比較

△上昇した主な項目

外食	(+)	5.9%
調理食品	(+)	9.0%
肉類	(+)	11.0%
自動車等関係費	(+)	3.1%

▽下落した主な項目

野菜・海藻	(-)	12.0%
家賃	(-)	0.9%
果物	(-)	13.2%

1 前月からの動き

総合指数の前月比は0.1%下落となった。

10大費目でみると、家庭用耐久財などの「家具・家事用品」が1.8%上昇となった。一方、理美容用品などの「諸雑費」が1.2%下落となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数の前月比は0.0%で横ばいとなった。

また、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の前月比は0.0%で横ばいとなった。

○費目ごとの主な動き

(1) **家具・家事用品**は86.8となり、前月に比べ1.8%の上昇。

家庭用耐久財	9.1%の上昇
室内装備品	1.0%の下落
家事用消耗品	3.7%の下落

(2) **被服及び履物**は103.7となり、前月に比べ0.9%の上昇。

洋服	0.3%の上昇
シャツ・セーター類	2.9%の上昇
下着類	2.4%の上昇

(3) **保健医療**は101.6となり、前月に比べ0.6%の下落。

医薬品・健康保持用摂取品	0.2%の下落
保健医療用品・器具	2.3%の下落

(4) **交通・通信**は106.0となり、前月に比べ0.9%の下落。

交通	0.9%の上昇
自動車等関係費	1.8%の下落

(5) **諸雑費**は108.5となり、前月に比べ1.2%の下落。

理美容用品	4.7%の下落
身の回り用品	1.1%の下落

表1 10大費目別対前月上昇率及び寄与度

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合
指数	102.5	102.5	99.1	116.0	86.8	103.7	101.6	106.0	100.7	97.1	108.5	102.5	100.3
上昇率(%)	▲0.1	0.3	0.0	0.0	1.8	0.9	▲0.6	▲0.9	0.0	0.0	▲1.2	0.0	0.0
寄与度	▲0.1	0.07	0.00	0.00	0.05	0.04	▲0.03	▲0.12	0.00	0.00	▲0.07	0.04	▲0.02

* 寄与度は、各品目または各項目の総合指数の上昇率に対する影響度を見るもの

2 前年同月との比較

総合指数の前年同月比は2.3%上昇となった。

10大費目でみると、他の光熱などの「光熱・水道」が5.0%上昇となった。一方、家賃などの「住居」が0.6%下落となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数の前年同月比は2.7%上昇となった。

また、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の前年同月比は1.6%上昇となった。

○費目ごとの主な動き

(1) **食料**は102.5となり、前年同月に比べ3.5%の上昇。

肉類	11.0%の上昇
野菜・海藻	12.0%の下落
果物	13.2%の下落

(2) **光熱・水道**は116.0となり、前年同月に比べ5.0%の上昇。

電気代	4.9%の上昇
ガス代	6.4%の上昇
他の光熱	7.7%の上昇

(3) **被服及び履物**は103.7となり、前年同月に比べ3.8%の上昇。

洋服	4.2%の上昇
履物類	9.1%の上昇
他の被服類	9.5%の上昇

(4) **保健医療**は101.6となり、前年同月に比べ2.3%の上昇。

医薬品・健康保持用摂取品	4.1%の上昇
保健医療用品・器具	2.3%の上昇
保健医療サービス	1.1%の上昇

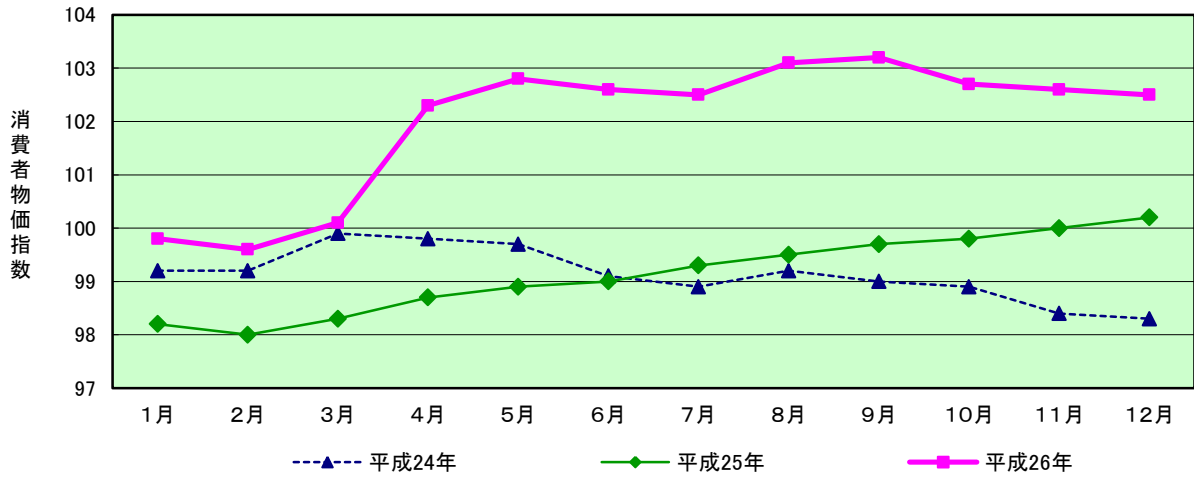
(5) **交通・通信**は106.0となり、前年同月に比べ3.1%の上昇。

交通	9.7%の上昇
自動車等関係費	3.1%の上昇
通信	0.6%の上昇

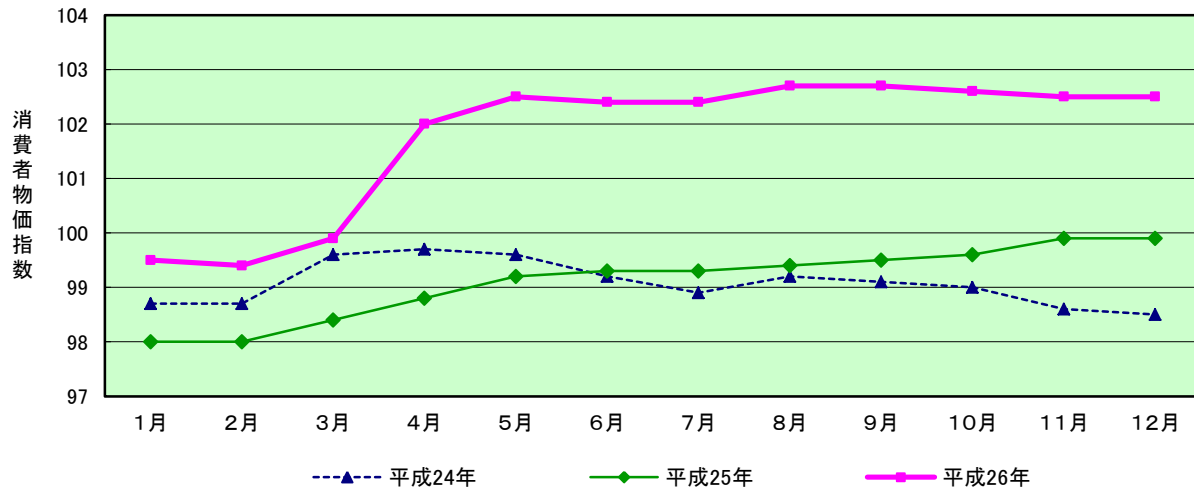
表2 10大費目別対前年同月上昇率及び寄与度

		総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合
対前年同月上昇率(%)	11月	2.6	4.5	▲0.6	4.8	0.3	3.1	2.4	3.6	1.8	2.2	2.4	2.6	1.7
	12月	2.3	3.5	▲0.6	5.0	1.8	3.8	2.3	3.1	1.8	1.7	1.6	2.7	1.6
寄与度	11月	2.6	1.12	▲0.12	0.39	0.01	0.13	0.11	0.51	0.09	0.22	0.16	2.54	1.13
	12月	2.3	0.88	▲0.12	0.40	0.05	0.16	0.10	0.43	0.09	0.18	0.10	2.58	1.10

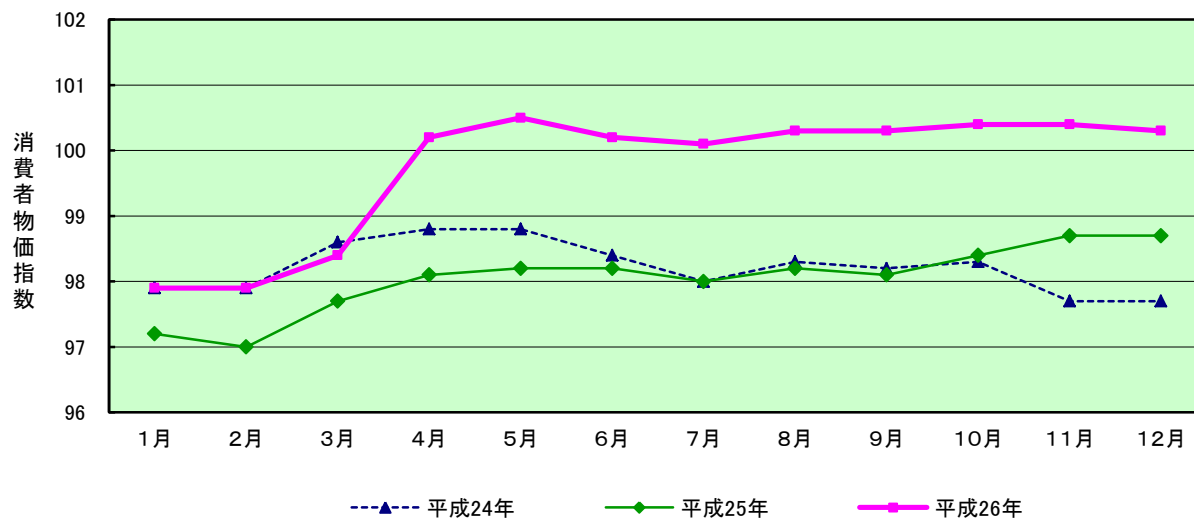
総合指数の推移



生鮮食品を除く総合指数の推移



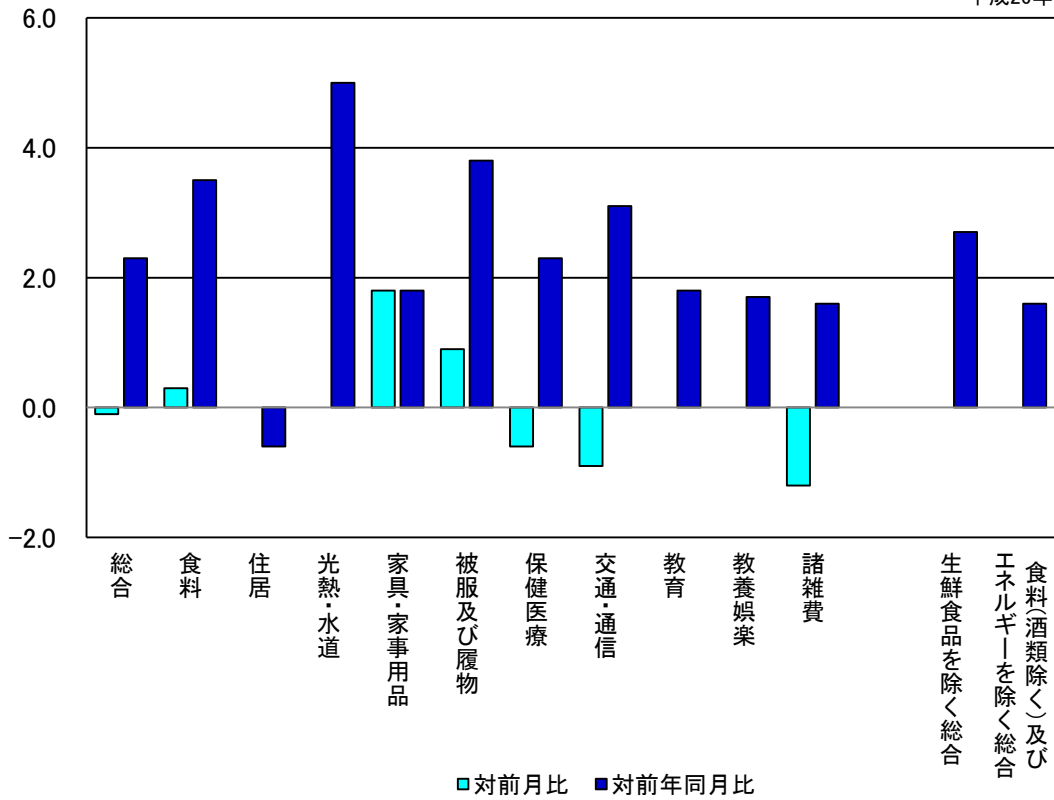
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の推移



10大費目別 対前月比 及び 対前年同月比

上昇率(%)

平成26年12月



生鮮品目の推移

